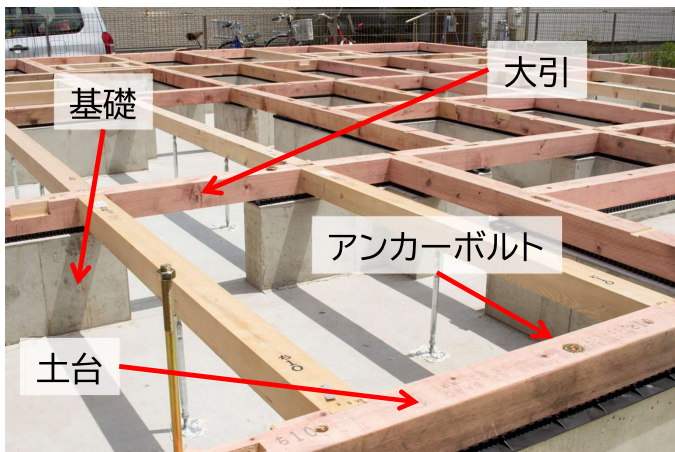




# 用途① 間接的な耐震性能の維持

## 従来課題

過去の建物調査ではアンカーボルトや羽子板ボルトと呼ばれる耐震補強金物が錆び、又は錆の進行で腐食し引張強度を持っていない例が多く発見されています。これらの鉄製金具はコンクリート基礎と土台、大引と呼ばれる角材、または柱や梁同士を締結する役割を持っているので金具の腐食は耐震性に致命的な悪影響を与えます。外壁亀裂からの浸水や防水シートの施工不良などによって内部結露が生じ、それらによって鉄製の耐震補強金物が腐食します。



新築時に健全な金具  
出典:koizumimokuzai



築25年の住宅建て替え時に撮影。アンカーボルトが腐食して全く機能していない。基礎に土台を固定できないので地震が来れば簡単に柱が外れて建物が倒壊してしまう。



# 用途① 間接的な耐震性能の維持

## Power Coatingの働き

1

### 外壁亀裂の防止

温度収縮や地震の揺れによる外壁の亀裂を抑止

2

### 雨漏り・結露の抑制

外壁からの防水性を向上し、過剰湿度は透湿性で調整し、湿潤した断熱材による内部結露を防ぎます。

3

### 締結金具の錆・腐食の防止

内部結露による木部の柱や梁、または耐震金具の錆・腐食を防ぎます。

4

### 間接的な耐震性能の維持

基礎と土台、大引け、柱と梁が設計通り機能するので間接的に耐震性能を維持できます。既に柱、梁、金具が腐食している場合は効果は期待できません。

新築時より耐震性能が向上する訳ではありません。



# 用途① 間接的な耐震性能の維持

## 木造のオフィス・店舗は防水処理で耐用年数2倍も

出典：日本経済新聞2025年1月12日

### 木造オフィス 耐久性を評価

#### 国土交通省は2025年度に木造のオフィスや店舗の耐久性を第三者が評価する新制度を導入する。木造の建造物の丈夫さを左右する防水処理を中心に確認し、基準を満たせば、耐用年数が現状の2倍超の50年以上だと認定する。金融機関からの融資を受けやすくして、普及拡大につなげる。

国土交通省は2025年度に木造のオフィスや店舗の耐久性を第三者が評価する新制度を導入する。木造の建造物の丈夫さを左右する防水処理を中心に確認し、基準を満たせば、耐用年数が現状の2倍超の50年以上だと認定する。金融機関からの融資を受けやすくして、普及拡大につなげる。

成する必要があるなど、木造の普及を阻害しているとの指摘がある。

第三者による審査は、各地方整備局長が認定した住宅性能評価機関が担う。木材の傷みの原因となる雨水の建物内部への浸入を防いでいるかや、雨水にさらされる部分が薬剤などで防腐処理できているかといった点を評価する。

国土省によると、23年度に着工した建造物を床面積ベースで見ると、1〜2階建ての住宅の88.4%が木造だった。住宅以外の建物では17.1%にとどまる。3階建てでも住宅は木造が55.7%、住宅以外は3.9%だった。

国土交通省は2025年度に木造のオフィスや店舗の耐久性を第三者が評価する新制度を導入する。木造の建造物の丈夫さを左右する防水処理を中心に確認し、基準を満たせば、耐用年数が現状の2倍超の50年以上だと認定する。金融機関からの融資を受けやすくして、普及拡大につなげる。

国土交通省は2025年度に木造のオフィスや店舗の耐久性を第三者が評価する新制度を導入する。木造の建造物の丈夫さを左右する防水処理を中心に確認し、基準を満たせば、耐用年数が現状の2倍超の50年以上だと認定する。金融機関からの融資を受けやすくして、普及拡大につなげる。

国土交通省は2025年度に木造のオフィスや店舗の耐久性を第三者が評価する新制度を導入する。木造の建造物の丈夫さを左右する防水処理を中心に確認し、基準を満たせば、耐用年数が現状の2倍超の50年以上だと認定する。金融機関からの融資を受けやすくして、普及拡大につなげる。

国土交通省は2025年度に木造のオフィスや店舗の耐久性を第三者が評価する新制度を導入する。木造の建造物の丈夫さを左右する防水処理を中心に確認し、基準を満たせば、耐用年数が現状の2倍超の50年以上だと認定する。金融機関からの融資を受けやすくして、普及拡大につなげる。